

投球数・投球イニング制限の取扱い



代表、監督、コーチ、すべての指導者の皆さんは必ずお読みください

府中市学童野球連盟

2022年2月20日

※2022年（令和4年）の投球数制限、投球イニング数の制限に

については以下の通りとします。

【第一部・第二部】

- ① 投球数は1日70球を限度とします。ただし、打者の途中で70球に達した場合は、その打者が終了するまで投球することができるものとします。
- ② 結果としてボークとなった場合も、投球したものとしてカウントします。
- ③ たとえ投球数が70球未満であったとしても、投手以外のポジションについては、その試合では再び投手へは戻れないものとします。
- ④ 投球イニング数については、1日6イニング以内とします。投球イニングに端数が生じた場合は、たとえば3分の1回（アウト1つ）であっても、1イニング投球したものとします。
- ⑤ タイブレーク方式による延長戦になった場合は、延長戦に入る直前回の第三アウトを記録した投手に限り、1日70球を限度として1日最大9イニングまで投げることができるものとします。
- ⑥ つまり、タイブレーク方式による延長戦になった場合に登板できる投手は、⑤に記した「延長戦に入る直前回の第三アウトを記録した投手」またはその試合に一度も登板していない選手ということになります。
- ⑦ いずれの場合も①が最優先となります。

【第三部・第四部】

- ① 投球数は1日60球を限度とします。ただし、打者の途中で60球に達した場合は、その打者が終了するまで投球することができるものとします。
- ② 結果としてボークとなった場合は、捕手へ投球した場合はカウントします。
- ③ たとえ投球数が60球未満であったとしても、投手以外のポジションについては、その試合では再び投手へは戻れないものとします。
- ④ 投球イニング数については、1日5イニング以内とします。投球イニングに端数が生じた場合は、たとえば3分の1回（アウト1つ）であっても、1イニング投球したものとします。
- ⑤ タイブレーク方式による延長戦になった場合は、延長戦に入る直前回の第三アウトを記録した投手に限り、1日60球を限度として1日最大7イニングまで投げることができるものとします。